

ウロコゼニゴケ科

ウロコゼニゴケ

Fossombronia japonica Schiffn.

兵庫県ランク… C

環境省ランク… -

■ 県内分布

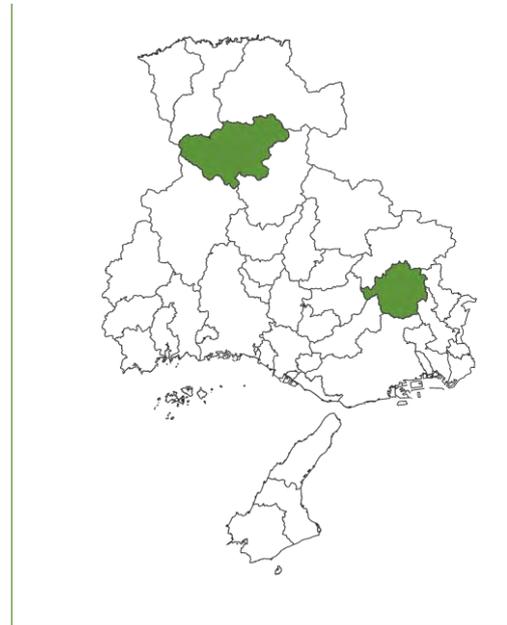
三田市、養父市

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州、琉球諸島

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

産地の報告例は少ないが、調査不足である可能性が高い。三田市の産地は土地改修で消滅。以前は *Fossombronia foveolata* Lindb. var. *cristula* (Aust.) Schust. という学名が使われていたが、どの学名を用いるかは研究者により見解が異なる。日本にはウロコゼニゴケを含めて4種が知られていて、いずれも希産種である。



写真提供:秋山弘之

■ 保護上の留意点

-

■ 種の概要

茎は長さ約1cm、幅は葉を含めて約1.5mm。葉は波打ち、円頭からやや凹頭、全縁。油体は各細胞に10-25個、微粒の集合。雌雄同株。胞子は晩秋に成熟する。蒴は不規則に裂開する。低地の日当りのよい裸地に生育するが、長く同じ場所に見つかることは少ない。